

情 報 公 開 文 書

研究の名称	HPV ワクチンの必要性をいのちの授業とともに伝える ～Vaccine Hesitancy 対応の新たな手法～
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	富山大学附属病院 高岡・地域小児保健医療学講座 客員教授 種市 尋宙
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 わが国における HPV ワクチンは 2022 年 4 月に積極的推奨の再開に至っていますが、いまだに接種率は 50%超にとどまっており、一般社会へ接種の必要性が届いていません。その背景には医療への不信感も存在しており、信頼を得るための手法について、本研究では講演会において、二つの話題（いのちの授業と HPV ワクチン）を組み合わせることで適正な理解が進むのではないかという仮定のもとで実施しております。 本研究は、2026 年 2 月 14 日に実施した令和 7 年度富山市立速星小学校 P T A 講演会の参加者を対象に、講演会前（PTA のみ）および講演会終了時（PTA および小学 6 年生）に無記名で実施したアンケート結果（既存情報）を用いて、参加者の HPV ワクチンに関する意識・認識の実態を明らかにすることを主目的としています。自由記載の感想をテキスト化し、質的内容分析および感情分析を行い、HPV ワクチンに関する知識普及、啓発活動の改善に資する示唆を得ることを目的としています。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日 【研究対象者】 令和 7 年度富山市立速星小学校 PTA 講演会に参加し、事後アンケートに参加した PTA および 2025 年度の速星小学校 6 年生 2025 年度 速星小学校 PTA（google forms にて事前アンケート参加者） 【研究資金、利益相反の状況】 JSPS 科研費 24K06302 の一環として実施されます。公開すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 本研究で用いるアンケートは無記名で実施されており、氏名、生年月日等の個人を特定しうる情報は原則的に含まれていません。得られたデータは個人情報を含まない状態で取り扱います。研究結果の公表においても個人が特定できる情報は一切用いません。 【研究結果の公表の方法】 研究結果は、日本小児感染症学会学術集会をはじめとする国内学会で行

	い、また査読付きの小児科領域や感染症領域の学術誌への投稿を行う予定であり、時期としては 2026-2027 年度を予定しています。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 研究に用いる情報は講演会参加者に対し実施した無記名アンケート（講演会に関する感想の自由記載のみ）および事前アンケート（google forms にて取得）を用います。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	試料の提供はありません
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 高岡・地域小児保健医療学講座 客員教授 種市尋宙
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-2015 FAX：076-434-5029 E-mail：htane@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名： 富山大学附属病院 高岡・地域小児保健医療学講座 種市尋宙（たねいち ひろみち）